

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1		女と男とのハーモニーフェスタ事業費	男女共同参画の推進活動を行う個人や男女共同参画登録団体が連携・交流・友好を深め、男女共同参画社会の実現に寄与することを目的に、自主的な男女共同参画意識の高揚と、男女共同参画に関する市民意識の醸成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年10月1日(土)開催</li> <li>丸由百貨店にて開催、550人参加</li> <li>※鳥取東高書道、麒麟獅子舞によるオープニング、県自主防災活動アドバイザーによる講演、登録団体の活動展示などを実施。</li> </ul>	男女共同参画を市民レベルで推進する有効な事業であるため、市民ニーズに即した実施内容を検討するとともに、十分な広報を行い特に若年層を含め、広く市民等への周知を図る必要がある。	人権政策局	男女共同参画課	60
2		男女共同参画登録団体補助金	男女共同参画登録団体の自主的な活動を促すことを目的に、男女共同参画の研修や広報等を行うための事業費を助成することにより、自主的な男女共同参画社会の実現に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>延べ9団体、11事業に計457千円補助</li> <li>※各団体が企画した講演会や機関紙の発行、男性の料理教室などを実施</li> </ul>	今後も継続して登録団体に支援することで、男女共同参画登録団体の自主的な活動の活性化を促し、男女共同参画社会の担い手として育成に支援していきたい。	人権政策局	男女共同参画課	60
3		男女共同参画啓発事業費	男女共同参画かがやきプランに沿った内容の啓発講座を開催することにより市民に対する啓発活動につなげる。さらに、「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」域内でオンライン講座を開催することにより、圏域全体の男女共同参画意識の推進を図る。 また、市民団体等へ自主企画事業を委託することにより、官民一体となった啓発を推進することが可能になる。	<p>輝なんせ鳥取講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>26講座開催予定中、24講座実施。</li> <li>参加者、651名(連携町のオンライン参加、延べ3町8名含む。また、CATV放送は、3講座に2町参加)</li> <li>※令和4年度から連携町におけるCATV放送もオンライン講座とすることとした</li> </ul> <p>自主企画事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1団体と実施</li> <li>※大人だけではなく、子どもへの家事参画を目的に「名もなき家事ZOO」を実施。市内の幼稚園・保育園等でワークショップを開催。</li> </ul>	講座の開催は、男女共同参画の推進に欠かせない事業である。引き続き、現行の「第4次鳥取市男女共同参画かがやきプラン」を中心とした講座を開催するとともに、社会の動向や市民ニーズを把握しながら、広く市民の参加につながるような手法等を工夫する必要がある。	人権政策局	男女共同参画課	61
4		(再掲)男女共同参画かがやき企業認定事業費	企業における子育てしやすい環境づくりの促進を目的として、仕事と家庭の両立に配慮した働きやすい職場環境の整備や、だれもが個性と能力を活かして働くことのできる職場意識の形成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>問い合わせのあった企業に職員が企業訪問などを行うことにより、新たに2社の認定につながった</li> <li>認定した日から起算して3年を経過した企業に対して、更新を依頼し、11社を更新企業として認定</li> <li>全体では、45社(うち、新規企業2社)を認定</li> </ul>	改正育児・介護休業法が施行され、企業の努力が今後、一層求められている。引き続き、働く場における女性活躍を推進するとともに、男性の家事・育児の参加を促すため、企業への意識改革や働き方の見直しなど、企業に対する啓発に取り組む。	企画推進部	男女共同参画課	61

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
5		女性応援つながりサポート事業費	女性が社会との絆、つながりを回復するとともに困難を抱えている女性を支援することを目的に、女性特有の健康課題について、男女共に理解と共感を高める事を目的として、女性のライフステージにおける悩みや、困りごとについて正しい知識を得る機会を提供することで、女性の「こころ」や「からだ」に関する不安の解消を図る。	開催状況 ・健康課題に関する講演を2回開催、延べ40名参加 ・健康課題に関するワークショップを延べ8回開催、延べ56名参加	受講者のアンケートでは、女性のライフステージに関する内容の事業や専門的な相談等を望む声もあったため、市民のニーズを的確に把握し、受託団体や関係機関とも情報共有を図りながら効果的な実施内容を検討していきたい。	人権政策局	男女共同参画課	62